

p.60 日本語訳

#### 世界の大学ランキング

最新の世界の一流大学ランキングによれば、ハーバード大学がトップ、2位で不動のケンブリッジ大学が続き、3位がエール大学となっています。最近注目を集めているのはロンドン大学ユニバーシティ・カレッジで、オックスフォード大学を追い越し第30位から第4位になりました。ロンドン大学ユニバーシティ・カレッジはこれを職員への投資の有効性を示すものと捉え、投資を継続するとのこと。さらに、新しい順位がもたらす宣伝効果を歓迎しています。しかし、オックスフォード大学は、ランキングシステムの犠牲者で、第5位には相当しないと主張しています。広報担当者によれば、「リーグ表のランキングは様々ですが、オックスフォード大学の位置は意外なもので、オックスフォード大学が2つ以上の領域で第1位になったということを考えれば、議論の余地があります。さらに、この順位の低下は一時的なものだと私たちは確信しています。」とのこと。

世界ランキングは、学術的研究、学業最優秀卒業生に対する企業側の考え方、実施された研究の量、留学生の人数に基づいていますが、学生の快適な暮らしを考慮に入れていません。さらに、一般の大学と専門家の養成機関を区別するために並列分類方法が導入されました。ロンドン・スクール・オブ・エコノミクスは社会科学系の一流の専門家のための大学として、そしてパリの高等師範学校は一流の工学系大学として名前を挙げられました。上位の10機関はすべて 95.9 から 100 点だったので、わずかな点差が順位の大きな違いとなって表れました。ランキング表はさらに、アジアの学術的世界における進歩、つまり、アジアの大学がアイビーリーグやオックスブリッジに挑戦する一歩手前に迫っていることを示しています。